

# 夢じゃーなる

第2期阪神北地域ビジョン  
委員会だより 一第2号一

平成16年(2004年)3月

発行：阪神北地域ビジョン委員会  
編集：阪神北地域ビジョン委員会広報部会

## 武庫川はいま

### 川と自然を市民の目で見よう

エコバスは武庫川を訪ねました。  
昨年十一月二十一日早朝、二十余名を乗せたバスは、山あい深く、武庫川上流浄化センターへ向かいました。ここは、三田、西宮、神戸三市の下水をバクテリア処理で浄化して、武庫川に放流する仕組みをもっています。つぎに、珍しい魚道のある、美しい青野ダムにやってきました。昔は暴れ川と恐れられていた武庫川の洪水から守り、また、水道用雨水や灌漑用水などのためにつくられました。見晴らしのよい千丈寺湖を控え、豊かな自然の懷に抱かれています。このあと、二十一世紀型都市公園、県立有馬富士公園を見てまわり、一路、宝塚の第三分野夢会議の会場へと急ぎました。バスの中では、阪神北東民局河川対策室の竹松課長に、武庫川についていろいろと説明していただきました。七市一町を結ぶ武庫川の川づくりの歴史、現状、洪水に苦しんだ住民のための改修計画が、治水、利水、そして環境対策へと、総合的に導入されることになったなど、大変参考になりました。そして、武庫川沿いの土地のこぼれ話を披露してくれました。



元気よく、エコバスで

青野ダム多自然型魚道  
—生物にやさしい環境づくり—

### 武庫川の民話・二題

#### ◆嫁が淵(加茂)

加茂で青野川が合流、そこに「嫁が淵」と呼ぶ淵があります。昔、この近くの村に仲のよい若夫婦がいました。姑がねたんで、嫁に一日のうちに田植えを終えるよう命じました。嫁は一生懸命に植えても植えても終らず、思い余ってこの淵に身を投げてしまいました。村人は二度とこんなことがないようにと、「嫁が淵」と名づけ、嫁いびりを無くしたそうです。

#### ◆雷よけのお寺、欣勝寺(桑原)

ある日、この寺の井戸に雷が落ち、生け捕りにされました。雷は二度とこの地に落ちないことを誓ったので、許されて空に帰っていききました。それから「クワバラ(桑原)、クワバラ(桑原)」と唱えると雷は落ちないといわれるようになりました。

## 第三分野夢会議

### ごみ・水・都市環境を話し合う会

#### 宝塚ソリオI第一会議室

(出席五十余名)

昨年11月21日開催

#### ◇水のリサイクル工場です

##### 武庫川上流浄化センター

浄化センターでは、下水をバクテリアで分解し、浄水として武庫川に放流します。武庫川の清流には、下水道も応援しています。

#### ◇全国でも珍しい「魚道」のある青野ダム

このダムは、特別な水路を別につくり、魚の通り道にしました。樹々が植えられ、昆虫や鳥、カエルもいっしょに住みます。上流、中流、下流にもそれぞれに工夫が施され、生きものによさしい多自然型魚道なのです。(外国ではサケのためのエレベーター、リフトもあります。)魚の遡上が見える水族館で、この日は寒いかから一匹もおりませんでした。



▲武庫川上流浄化センター



▲有馬富士と福島大池をのぞむ

#### ◇県下最大の都市公園

##### 有馬富士公園

県立有馬富士公園は、有馬富士と福島大池をもち、自然とふれあう二十一世紀型都市公園としてつくられ、地元の人たちといっしょに運営管理されています。キノコの会、稲づくりなど、夢プログラムがいっぱい。平成十七年、遊びの王国が開園、皇太子殿下がご来臨の予定、愛子さまもごいっしょだったらいいなあとみんな心待ちしています。ここで昼食をすませ、一路、バスは宝塚へと急ぎました。

#### ◇基調講演

講師 中川 芳江

(株)ネーチャースケープ専務取締役  
兵庫県環境審議会委員

環境問題のなかで、主にごみについて、ペットボトルの廃棄後の行方から輸送効率、ごみを考える順番など、内幕を交えての興味深い指摘、そして、環境への取り組みでは、その難しさ、仕掛けと繋がりが大切なこと他、私たちビジョン委員の活動に役立つ卓見がたくさんありました。

#### ◇第三分野各グループの報告、討議

##### 報告、討議

① 都市景観問題グループ(斧原代表) まず各市町別違法広告物の現状を把握、不法広告物を撤去できる仕組み(制度)の一元化をめざします。そして住民参画のシステム作りを期し、体制、制度を整え、各団体との連携をはかります。

② 水の問題グループ(河端代表)

● 河川マップ作り  
武庫川、猪名川、各支流の水質、親しめる水辺空間などを盛り込みます。

##### ● こども環境会議

北県民局管内で、環境教育に取り組む小学校の代表が一堂に会し、学習体験、成果を発表、意見交流の会議を今年開催すべく取り組みます。



▲夢会議

③ ごみ問題グループ(国山代表) 四市一町のごみの分別と処理を調べました。(三面掲載)

終りに、質疑応答が活発に行われ、第三分野各グループあわせて全体で課題に取り組みべきであると、とくに強い要望がありました。

(第三分野 早川 安夫)

#### 南と北のビジョン委員会合同で猪名川の水環境を探る



▲大野山の分水嶺

猪名川は北県民局管内は上流、南県民局管内で下流と、つながっています。そこで両局が合同で猪名川水系を探ることになりました。一月十三日参加者二十名、車四台で出発。はじめに一庫ダムへ。説明を受け、猪名川水系についてのビデオ(二十五分)も見ました。午後、猪名川の源流にまでさかのぼり、「栢原の幻の水」にも立ち寄り、そのあと分水嶺のある大野山に登り、猪名川天文台(アストロピア)を見て、多田浄水場へまわりました。途中、外来種の藻が猛烈に繁殖し、川面が白くなった処があり、一同気になったまま帰途につきました。

(第三分野 河端清五郎)

## 地域のごみの現況を調べました

第3分野ごみ問題グループでは、阪神北4市1町のごみの分別方法、処理量等を調査しましたので報告します。  
ごみ処理対策の一助にして下さい。 (第3分野 田中 實)

### 5Rのススメ

**リデュース** (ごみの発生を抑制する) **リユース** (再使用する) **リサイクル** (再資源化する) **リフューズ** (ごみを増やすものは受け取らない) **リペア** (修理して使う)

### 阪神北4市1町ごみ分別一覧表(平成15年12月現在)

市 町 名 持ち込みごみ 連絡先(TEL)	ごみ以外に分別	ごみに分別	有 料	ごみ袋
伊丹市 (TEL) 072(782)0968	古紙類(新聞、雑誌、ダンボール、紙パック、古着類) びん ペットボトル <u>プラスチック製容器包装</u> 廃食用油(天ぷら油)	燃やすごみ(日常 台所ごみ) <u>可燃大型ごみ(家具類)</u> 燃やさないごみ(金属類『 <u>空かんを含む</u> 』 <u>自転車</u> 、電気製品、電池等)	臨時ごみ 飼い犬、猫等 死体	無色透明 白色半透明
宝塚市 (TEL) 0797(87)3363	<u>かん・びん</u> (かんとびんは同じ袋に入れる) <u>紙(新聞、ダンボール、雑誌・チラシ・包装紙、小型紙)</u> 布 ペットボトル、その他小型不燃ごみの一部 「再生」	可燃ごみ(台所ごみ、 <u>プラスチック</u> 紙くず、布くず、木くず他) その他小型不燃ごみ(陶器類、金属類、小型家電、ガラス)	<u>粗大ごみ(家具、自転車他)</u> 飼い犬、猫等、 多量植木	透明 半透明
川西市 (TEL) 072(794)3500	<u>プラスチック類</u> (ペットボトルを含める食品関係その他) 空きびん・ガラス類(食品関係その他) <u>空かん類</u>	一般ごみ(台所ごみ、紙くず他) <u>粗大ごみ(新聞、雑誌、ダンボール、古着…)</u> できるだけ集団回収へ、 <u>家具</u> 、家電品、陶器、金属、布、 <u>自転車他</u> )	臨時ごみ 持ち込みごみ 犬猫などの死体	ポリ袋
三田市 (TEL) 0795(63)5551	ペットボトル 空きびん(無色、茶色、その他に分ける)	燃えるごみ(台所ごみ、 <u>プラスチック</u> 他) <u>(新聞、古雑誌ダンボール、古着、紙パック)</u> は集団回収へ 燃えないごみ(空きかん、陶器類、乾電池、ガラス類、小型家電他)	<u>粗大ごみ(家具、自転車他)</u> 持ち込みごみ (指定ごみ袋)	指定3袋種類 燃えるごみ 燃えないごみ ペットボトル 各用(大、小)
猪名川町 (TEL) 072(768)0818	ペットボトル、 <u>プラスチック類</u> びん(白色、茶色、その他に分ける) <u>かん類</u> (電池類を含む) 粗大ごみのうち資源ごみ( <u>紙パック、古新聞、古雑誌、ダンボール等</u> )	燃えるごみ(生ごみ、紙くず、葉刈他) 不燃ごみ(陶器他) <u>粗大ごみ(家具、小型家電、自転車他)</u>	引越しごみ 臨時ごみ	ポリ袋 プラスチックは無色透明 半透明

〔各市町のごみ分別のパンフレットおよびホームページより〕

★家電製品 各市町とも家電リサイクル法対象品は除く ★パソコン 平成16年10月から対象外 ★集団回収 各市町とも奨励金を交付

### 平成12年度一般廃棄物

1人当たり1日処理量  
単位グラム

1人当たり年間集団回収量  
キログラム

	生活ごみ	事業ごみ	合 計		
伊丹市	743	465	1208	伊丹市	40
宝塚市	721	274	995	宝塚市	38
川西市	693	242	935	川西市	36
三田市	606	348	954	三田市	48
猪名川町	672	174	846	猪名川町	48
県平均	839	496	1335	県平均	30

〔兵庫県県民生活部環境局環境整備課資料により〕

### 平成12年度一般廃棄物1人当たり1日処理量



### リサイクル・リユースのためのマーク

資源有効利用促進法により表示が義務づけられている材料識別表示マーク

アルミ缶 	スチール缶 	PETボトル 	紙製容器包装 
プラスチック製容器包装 	塩化ビニル製建設資材 	小型二次電池(充電式電池) 充電式電池リサイクル 協力店の電池回収ボックスで回収 Ni-Cd:ニカド電池 Ni-MH:ニッケル水素電池 Li-ion:リチウムイオン電池 Pb:小型シールド鉛蓄電池	

# トップと語る

伊丹市 松下 勉 市長



松下伊丹市長

私たちビジョン委員会広報部会では、四市一町の行政のトップの方にお目にかかり、いろいろなお話をお聞かせいただくことになりました。

今回はその第一回として、一月二十九日広報部会のメンバー十一名で伊丹市役所の松下市長をお訪ねしました。上田広報部会長の挨拶、出席者の自己紹介の後、市長のお話をいただき、懇談会形式のインタビューとなりました。和やかな雰囲気の中、市長は終始



▲和やかに松下市長の話を聞く

笑みを浮かべながらリラックスした表情で質問にお答えいただきました。その内容を簡単に紹介いたします。

一 市長が特に力を入れておられる施策についてお聞かせください。

◎「市民が主役のまちづくり」を選挙公約にも掲げてきたが、市民の参画と協働の基本となる「伊丹市まちづくり基本条例」を昨年十月一日施行した。今後は行政と市民がまちづくりのパートナーシップを築き、協働してまちづくりに取り組んでいく。また、地域資源である歴史や文化、昆陽池や空港などを活かし、市民が伊丹の町に誇りと愛着を感じ、市外から来られた方には個性と魅力を感じてもらえるようなまちづくりを行う。また、ますます少子高齢化が進む時代にあっても人口の定住化を図っていきたい。

二 「市民の参画と協働」という観点でどのような取り組みを進めておられるのでしょうか。

◎市民の参画という点では、情報の提供と共有、パブリックコメント制度や公募により各種審議会での市民委員枠を設置するなど、市民の声を反映させるしくみをつくらせている。「協働」という点においては各自治会活動、地域福祉活動

などあらゆる場の活動において市民間や市民と行政のパートナーシップを築いていきたい。

三 市域を超えた活動について

◎一つの市では出来ないこと（たとえば災害時など）は隣接市が協力して取り組める体制を整えていきたい。

四 教育の問題について

◎市長として、教育環境を良くしていくことに努めたい。また、地域の教育力を上げていくことにも力を注ぎたい。以上



▲野鳥の楽園 昆陽池

当日、お忙しい中お時間をいただきました。松下市長、企画調整室増田主幹（ビジョン委員会オプザーバー）、市民まちづくり課阪上課長に深く感謝申し上げます。

（広報部会 中村 良子）

## わがまち伊丹の紹介

伊丹のまちは、古くから酒造りが盛んでした。文化・文政年間には、八十数軒の造り酒屋が林立していたそうです。伊丹で造られた酒は、樽廻船で遠く江戸にまで運ばれました。酒造りに関してこんな話が伝えられています。

昔、鴻池に造り酒屋があり、そこで働いていた奉公人が失敗をして主人からこつびどく叱られました。奉公人は、その腹いせに酒桶の中に灰を放り込みました。すると、あら不思議、その桶の中の酒は清く澄んで、さらにおいしい酒に変身していたのです。それ以来、伊丹は清酒発祥の地となりました。

また、伊丹のおいしい酒を求めて、多くの文人墨客が訪れてきました。あるとき、頼山陽が阪上桐蔭宅（酒造家）に泊まりましたが、いささか酒に酔ったところ、主人から柿を差し込まれました。それが、あまりにもおいしかったと、後世伝え聞いた岡田利兵衛氏（伊丹市名誉市民・大学教授）が、その柿の木を守ることになり、雅号も柿衛とつけました。岡田氏は、俳諧の歴史に造詣が深く、よく資料を収集され、その膨大な資料をもとに今の『柿衛文庫』を設立されました。

現在、東大の酒竹・竹冷文庫、天理大の綿屋文庫と並んで日本の俳諧三大コレクションといわれています。また、「東の芭蕉、西の鬼貫」と呼ばれている俳聖鬼貫も伊丹の人です。

今でも、伊丹のまちは、伝統ある酒造りが脈々と息づき、市民の誇りとなっています。

（広報部会 田中 美晴）

# 阪神北地域夢会議盛大に終わる

平成十五年十一月三十日、「阪神北地域夢会議（さわやかフォーラムと同時開催）」が、伊丹市立産業・情報センター六階ホールで開催されました。

当日は、井戸知事を始め、多数のご来賓や、ビジョン委員、地域で活動されている方々で、会場が溢れ返りました。

## 「むぎわら音頭」で開幕

午後二時、伊丹市の重要無形民俗文化財である「摂州兵庫功德盆おどり（むぎわら音頭）」が、保存会のみなさんにより披露され、賑やかな幕開けとなりました。

## のじぎく兵庫国体のPRと 阪神北県民局長より趣旨説明

会場には、のじぎく兵庫国体のマスコットキャラクター「はばタン」の着ぐるみが現われ、司会から、二〇〇六年秋に開催される兵庫国体の基本方針や開催会場などの説明が行われました。続いて、兵庫県阪神北県民局長より



▲「はばタン」も出て国体のPR

開会あいさつと趣旨説明があり、「みんなで広げよう実践活動の輪」〜豊かな阪神市民文化社会を築こう〜というテーマが示されました。

## パネルディスカッション



▲プレーパークの映像を見ながら  
路工業大学教授（県立姫路）にお願いし、パネラーには、小川さんと安積さんの二人のビジョン委員をはじめ、次の六名がそれぞれの体験を話しました。

小川紀之 地域住民との協働によるプレーパークの実施と成果。  
今在家喜久夫 中心市街地の活性化。住民全体で伊丹郷町の歴史・文化を生かしたまちづくり。  
東 孝司 川西久代商店会が地域自治会や行政とのジョイント役になる楽しいまちづくり。  
西田信之 宝塚市安倉地区まちづくり協議会の活動を推進。  
清水文美 県立人と自然の博物館とのパートナーシップのもとに、人と自然の共生の理解を深める体験学習や調査研究を推進。  
安積恵美子 中高生を対象とした交流イベントを企画、開催。

## コーディネーターのコメント

中瀬コーディネーターからは、次の四点のコメントをいただきました。  
一 本日の夢会議にさまざまな活動団体の方が参加されているが、この他にも地域には、いろんな活動をしている人がいる。これからは、地域活動でいろいろな主体による関わりができてくる。  
二 地域活動に参加するきっかけづくりとして「写真パネル展・プレーパーク・まちづくりプラン・運動会・スポーツ交流イベント・フリーマーケット」などの楽しい体験発表があったが、地域の人が、何をほしがり、何をしたいかのニーズを把握すれば「きっかけ」ができる。  
三 「活動の輪を広げていくための人材をどう育成するか」については、「活動の結果を目的とするのではなく、その活動の過程で、お互いが学習しあって友達の輪を広げていく」ことが大切である。  
四 「わ」というのも一つのキーワード。これからは、いろいろな活動団体がお互いに連携（ネットワーク）することによって、さらにすばらしい活動団体になっていく。

## 知事からも総括コメント

最後に井戸知事が、「地域の活性化には、みんなの力を結集できるリーダーが必要である。また、活動の場として、既存施設の利用率のアップ（料金の値下げ）、小学校などの空き教室（大人のたまり場）の活用、若者ゆうゆう広場の推進などとともに、祭りを地域活動の場として見直しては」と提案されました。

## スムーズな進行で終了

フォーラムは、常時、上田・田中コンビの司会により、時間の配分どおり、楽しく滞りなく進行し、午後四時無事終了しました。

（広報部会長 上田志津香）

## 今ライフスタイルGでは

昨年の十月、待望のプレーパークを猪名川町つつじが丘で地元との協働により実施しました。次は、川西の北陵地区で同じような事業を計画中です。

また、川西の多田小学校区防災会が、プレーパークの中の竹筒ご飯の炊き方やドラム缶風呂に目をつけられ、防災訓練に取り入れ、ビジョン委員を講師に招いて二月に防災総合訓練が実施されました。

現在、グループ名を「プレーパーク」から「ライフスタイル」に改名して、四市一町のコミュニティ（自治会、地区社協等）を対象に「ホームページの設置」に関するアンケートを実施し、結果をとりまとめ中です。  
（ライフスタイルグループ 代表 赤松 弘揮）

## 各分野の活動紹介①

### ビジョン勉強会活動開始

ビジョン委員有志が昨年十一月十七日、ビジョン勉強会運営委員会を立ちあげました。

まずは、第一回として、ビジョン活動の原点に戻り、その生い立ち、理念や考え方、今後の推移を学ぶために二月二十八日、宝塚市東公民館で、県のビジョン担当課長の杉本明文さんを講師に学習会を実施しました。  
（ビジョン勉強会運営委員会 代表 高木 菊彦）

## 各分野の活動紹介②

### 第四分野

#### 「地域経済活性化」の取り組み

昨年は、四市一町の名産・名産、祭りや行事、観光スポット、その他の資料を持ち寄り、お互いに情報交換をして、理解を深めてきました。

今年は、これらの情報をもとに、地域経済活性化につながる活動目標を設定し、具体的活動をどのように実施するかについて、検討を重ねてきました。

これまで各市町の行政や経済界で、総力を挙げて活性化に努力している実情を考えると、短期間にわれわれが地域経済の活性化という難問にいどむことは、たやすいことではありません。

さらに四市一町という広域経済の活性化というテーマに取り組むことは大変難しいことではあります。これらの地域で興味ある情報を広め、ニーズを感じる人々の流れを産み出すきっかけができれば、地域経済の活性化に繋がるのではないかと考えました。

まず近郊の住民が楽しく仲間の人たちを誘い合って、散策できるところを紹介してみようと話し合いました。

いうまでもなく、利用する人たちの健康づくりと仲間づくり、ふれあいづくりにも役立ってほしいと思います。

私たちの出来る範囲の目標として、次のようなテーマを設定しました。



▲第4分野 見どころなど「散策ルート」についてミーティング中

#### 活動目標

おすすぬ「散策ルート」

ルートに散在する見どころ

食べどころ、名産・名産、

おみやげものご紹介。

調査の方法としては、各委員が在住あるいは勤務している各市町のおすすぬコースを探索して、調査結果を必要の都度協議・調整します。

私たち委員相互でも、興味のある地域には積極的に調査・探索に参加し、協同して活動することになっています。

ミステリーハンターの気持ちで、楽しくやっていきたいと思ひます。

最後に観光スポット、見どころ、名産・名産、食べどころなどについて、一般の方々からの情報もお待ちしています。

(地域経済活性化副代表 大庭 弘之)

(連絡先)

〒665・8567

宝塚市旭町2・4・15

宝塚市北泉民局地域振興部商工課

電話 0797・83・3155

FAX 0797・86・4314

### 第一分野

#### 「ドリームスポーツ大会」を開催

第一回「ドリームスポーツ大会」を昨年十一月八日、尼崎市記念公園運動場において開催しました。

当日は、絶好のスポーツ日和に恵まれ、小学生、中学生、高校生と家族・友人など北阪神地域をはじめ阪神間から約百名の参加と数名のプロ選手の指導により成功裡に大会は終了しました。

この大会の趣旨は、日頃スポーツをしたくても運動クラブや地域のチームの活動に参加できずに、家庭に引き籠りがちな青少年にスポーツを通じて、地域参加と友達づくりの場を提供するために、宝塚市ファミリースクール・ヴィンテージ、NPO法人伊丹アスリートクラブとビジョン委員の共同企画に、テニス・サッカーのプロ選手の賛同と地域の会社、商店主、医院などの協賛をいただき開催ができました。

イベントにはテニス三十三名、サッカー三十七名と多くの子どもたちの参加があり、レッスンの初めのころは、教える側と教わる側といった感じで、どこか緊張した様子の子供たちでした。

が、レッスンが進むにつれてコーチのみならず、子どもたちも打ち解けていきま



▲日本フェドカップチームのコーチが指導



▲ヴィッセル神戸のコーチとともに

して、分け隔てなく一緒に楽しもうとする姿勢に感心しました。未経験者の子どもたちも上達するにつれてゲームができるようになると、勝負することが面白くなったようで、「今度はダブルスでやりたい」とか、「もう一回やろう」と言うようになり、どの子どもも時間を忘れてプレーを楽しんでいました。また、サッカーでは、コーチの方々が子どもたちと真剣に向き合って、子どもたちのいいところを褒めながら弱いところを励ます、熱のこもった指導に子どもたちもそれに応えて、少しでも技術を吸収しようと一生懸命に取り組んでいました。参加した子どもたちの満足した顔を見て企画した側も、充実した一日となりました。

また、当日、準備や運営をしていたヴィンテージとアスリートクラブの皆さんや自前でお弁当を用意してくださったボランティアなど、地域の方々の輪とご好意に支えられ、イベントを開くことができました。

次年度もこのような大会を希望する声もあり、継続して開催できるように準備を進めたいと考えております。多くの方々のご協力をお願いします。

(ドリーム・ユース副代表 萬 敦雄)

## 各分野の活動紹介③



▲第二分野での意見交換風景

アンケート調査集計結果（／世帯1枚）  
配布数(5,530枚) 回収数(3,705枚) 回収率(67%)

(問) シニア・クラブの設立について	
良いと思う	(3,307枚=89%)
必要ない	(143枚=4%)
その他	(255枚=7%)
(問) シニア・クラブの会費について	
ある程度の会費は負担すべきだ	(2,994枚=81%)
会費を負担してまで加入しない	(214枚=6%)
必要な費用は公的補助で	(221枚=6%)
その他	(276枚=7%)
(問) 加入について	
加入する	(1,248枚=34%)
必要と認めるが加入しない	(2,004枚=54%)
その他	(453枚=12%)
(問) 活動拠点として小学校の空教室有効活用について	
妥当な考えと思う	(1,901枚=51%)
賛成だが慎重に使用してはいけない	(919枚=25%)
学校以外の場所	(49枚=1%)
その他	(415枚=11%)
その他	(421枚=12%)

私たちの活動方針として、「多彩な交流社会」を掲げ、自立と協働による温かいコミュニティづくりを目標とし、その一環として老人会の活性化について各地域での実現をめざしています。

グループでは、成熟社会にふさわしい地域の多様なニーズにマッチした取り組みで、ビジョンの方向性を明確にし、推進に寄与すべく鋭意活動中です。

今回、川西市多田グリーンハイッ地域の一例をご紹介しますと、当地には「若葉会」という老人会がありますが、高齢化が進み新会員加入も思うに任せぬため、発展

第二分野  
「老人会の活性化」の活動状況

的解消し、新しく「シニアクラブ」を設立すべくアンケート調査を実施しました。

ちなみに結果を踏まえて本年四月に設立に向け、現在準備委員会でのスケジュールを検討中です。

総括として、会費の負担については設立推進に力強い活力になるものと評価する。設立及び加入に対して予想以上の賛同者を得ましたが、施設の確保が急務となる。

なお、各地域についても「おこす、つなぐ、ひろげる」ことにより活動の推進に寄与し、地域内に充実した施設を確保して活性化を計り、福祉の向上を目的に、ビジョン委員会に反映されることを念願するものです。

(丸橋 伸好)

## 地域でもこんな活動をしています①



▲森林作業を終えて一息

水は森から  
森林保全活動へ参加を

猪名川町森林ボランティア「里山倶楽部」・「ひよっこ森の倶楽部」

水を生む森林の荒廃が大きな問題となつています。杉などの人工林では間伐がなされないため、陽が地面に届かず草が生えない。山も下草刈などの手入れがない。雨が降れば一気に流れてしまい、ふだんは河川の流量が減少しています。森の保全や植林をする「森林ボランティア」活動が求められています。水を生む森林、先祖が育ててくれた山林を私たちの時代で荒廃させては申し訳ないことです。水を確保するために都市の人も森を守ることに参加しなければなりません。下草刈や間伐の木の裁断など、女性や高齢者でもできる作業があります。山でわらびやキノコ採りなど楽しいこともあります。作業をしたあとはすがすがしい気持ちです。一人でも多くの方の参加をお願いします。猪名川町森林ボランティア「里山倶楽部」は、農林商工課へ連絡下さい。

◆電話 ○七二一七六六八七〇九  
「ひよっこ森の倶楽部」は、阪神北泉民局林業課へ連絡下さい。

◆電話 ○七九七七八三三二七〇  
(第三分野 河端清五郎)

自主上映グループ  
「すみれ座」

豊かさにとぎわいの創出と展開を行動目標にしている阪神北地域ビジョン第四分野に所属するにあたり、私は大好きな映画をその手段として活用できないかと考えました。

宝塚唯一の映画館が売布神社駅前ビル、ピピアめふの五階にあります。平成元年より地元宝塚に、常設映画館開設を願い、上映活動と陳情を重ね、やっと実現させた公設民営の「シネ・ピピア」です。私たちは自主上映グループ「すみれ座」として、企画、動員に日々楽しみながら努力しています。

今回のお推めは「アイ・ラブ・ピース」です。邦画初のアフガンロケを敢行し、主演は聴覚障害で、義肢装具師役の忍足亜希子さんと、実際に地雷で右足を失った現地十二才の少女です。二人の出合うカブールと、義足作りの始まる鳥取県太田市を結んで映画は続きます。一千万個の地雷がまだ埋設されたままのアフガニスタンで、市民関心の最も高い義足制作の日本支援活動を初めて劇映画のテーマとして取り上げています。より多くの方にご来場いただき、話題の一つになれば幸いです。

日時 三月二十日(土)～二十六日(金)  
一日五回上映  
場所 シネ・ピピアII  
阪急宝塚線売布神社駅前ビル5F  
(第四分野 野間二夫(佐子))



監督 豊 大澤  
主演 忍足亜希子

アイラブピース

## 地域でもこんな活動をしています②

### 三田市いずみ会 料理への取り組み

兵庫県いずみ会は今年三十周年を迎えます。私が活動している三田市いずみ会も同じく三十周年を迎え、今その記念の準備をしています。

いずみ会は、栄養、休養、運動を三本柱に「私達の健康は私達の手で」を合言葉に会員研修、料理教室、リーダー研修、研修旅行、生活習慣病予防の研修等、楽しく活動しています。

兵庫県では、ひょうご健康づくり県民行動指標が展開されており、私も推進員の一人として、食塩一日十グラム以下、野菜一日三百五十グラムを目標に出来るところから実践して、「こう」思っています。

健康兵庫県民運動では「食の健康」を重点活動目標に、おいしいごはんを食べよう、もっと大豆を食べよう、減塩しよう、と訴えています。これらを基準にして、親子、男性、健康料理教室、シルバークッキング教室、家庭学級の料理教室、栄養バランス教室の講師及び調理指導、健康福祉フェア、骨粗鬆症予防教室の試食作り、社会福祉協議会の委託として高齢者の一人暮らしや高齢者世帯に対するおせち料理作りをしています。



▲親子料理教室

これらの活動を通して、ビジョン委員会でも地域の方々と交流をし、少しなりともお手伝いできればと思っています。

(第二分野 野間 貞子)

### 音楽ボランティア

私は、幼少の頃から音楽好きで、叔母がピアノを弾き始めると、側に行き歌っていたようです。順風満帆に生きていた私の生活が、四十九才にして一転したのです。「貴女は脳腫瘍です。身体を整理して入院して下さい」頭が真っ白でした。

三回にわたる手術にもかかわらず何の後遺症もなく生かされている自分が嘘のようです。自分出来ることで、社会に還元するつもりでボランティアを始めました。男性六人女性六人のグループ、コーロ・あまでゆうすを立ち上げ、高齢者福祉施設、病院、老人会などで音楽の宅配ボランティアをしています。市民病院ではかつて入院した



▲病院ロビーで出演中

経験もあり、患者の皆さんにも聞いていただきたくロビーで歌いました。高齢者施設では皆、音楽が好きなので、私たちが行くと、さつきまで不機嫌だった人が、機嫌よくされるとのこと、来て良かったと団員一同感じます。指揮者中澤延壽氏は中学校の音楽教諭のかたわら、青少年合唱団の指揮者で、永年にわたり青少年育成に携わって来られたボランティア精神溢れる先生です。現在は伊丹市民合唱団の常任指揮者です。私たち団員一同、今後も心豊かに、癒しの音楽を求め活動を行って行きたいと思っています。

(第二分野 高濱 弘子)

## お知らせ

### 夢会議 (お気軽にご参加ください)

#### 【第3分野】

内容：①講演「都市景観に於ける屋外広告物のあり方」  
講師 兵庫県広告物審議会委員 岩井珠恵  
②第3分野3グループ活動報告  
③参加者との意見交換  
日時：3月27日(土)14:00～ 入場無料  
場所：宝塚商工会議所会議室 (阪急宝塚駅ソリオⅡ6階)  
企画：阪神北地域ビジョン委員会第3分野

#### 【第4分野】

内容：地元ならではのおすすめ「散策コース」を紹介  
地元の誇れる見所、食べどころ、名物・名産、おみやげ物を教えてください。  
日時：3月29日(月)14:00～ 入場無料  
場所：宝塚商工会議所会議室 (阪急宝塚駅ソリオⅡ6階)  
企画：阪神北地域ビジョン委員会第4分野

### ご案内!! 「ふれあい こんさあと」3月20日(土) ～音楽でつなごう、温かい地域コミュニティの輪～

私たち阪神北地域ビジョン委員会「コミュニティ第2グループ」では、「ふれあいこんさあと」を企画しました。地域で活躍されている音楽グループの皆さんの発表をお聞きいただき、温かいコミュニティづくりをともに目指しませんか? 地域の皆さんお誘いあわせのうえ、どんだん会場におこしください!! 入場無料!! です。

日時/3月20日(土) 13:30開場 (14:00開演)  
場所/宝塚市立西公民館 (阪急小林駅下車、東に3分)  
出演団体/各市町より9団体出演

- ①宝塚すずらんエコー (宝塚市) ②萩同好会 (宝塚市) ③せせらぎ (川西市)
  - ④宝梅クラブ (宝塚市) ⑤春日丘ジュニアコーラス (伊丹市)
  - ⑥ボランティアグループChildren (宝塚市) ⑦コール・あかしあ (三田市)
  - ⑧光明コーラス (宝塚市) ⑨コーロ・あまでゆうす (伊丹市)
- 全員合唱 小さな世界

主催：阪神北地域ビジョン委員会「コミュニティ第2グループ」  
お問い合わせ：ビジョン委員 伊藤 ☎090 (1591) 8200

### ビジョン活動を より主体的に

昨年より、各グループ代表が集まり連絡調整会議を二回開催しました。

連絡調整会議は、私たちビジョン委員が、より主体性と責任を持って、行動プログラムの実践とシステムの構築を迅速に行うための役割を担うことになりました。これは、二月十七日の企画部会でも賛同を得ました。

今後は、各グループから出された問題を解決するために、新たな部会を設置し検討していくとともに、より主体的なビジョン委員会にしたいために、全県レベルの課題は企画部会を通して全県委員会にも提案していきます。

(連絡調整会議 代表 赤松 弘揮)

### 編集後記

伊丹市長のインタビューが終わったら、だれいとうなく会食することになりました。「夢じゃーなる」第2号を出して、本当に親くなった広報部会です。今後も、各部会の活動をめれなく掲載したいと一同張り切っています。②

この情報誌について、皆さんからのご意見をお待ちしています。

阪神北地域ビジョン委員会事務局  
〒665-8567 宝塚市旭町2-4-15  
兵庫県阪神北県民局地域ビジョン担当内  
TEL0797-83-3101 (内217) FAX0797-86-4379  
e-mail : hanshinkitakeminkyoku@pref.hyogo.jp